

平成27年度事務事業評価表（平成26年度振り返り）

政策名	健康で幸せにすごせるまち		施策番号・名	09	障害者福祉の推進	基本事業番号・名	09-03		障害児への療育支援			全庁評価会議 (28年度に向けた 方向性等)															
事務事業 番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、補助・給付区分、事業形態、近隣市状況)	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)		対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の 数値指標化)		事業費、人件費						所管課評価 (事務事業の方向性、項目別評価、 所管課としての総合評価及び方向性)	外部評価									
	所管課長名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	左記「事業費(実績額)」に係る財源			人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)													
	事務事業名									特定財源					一般財源												
						国	都	その他	特定財源に伴う一般財源	一般財源																	
09-03-05	障害福祉課 わかくさ学園	根拠法令等 児童福祉法、東久留米市中心障害児通園施設条例、東久留米市中心障害児通園施設条例施行規則、東久留米市中心障害児通園施設運営要綱	対象	利用契約障害児	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	現状維持	有効性	3	効率性	3	達成度	3	
	障害福祉課長 後藤 寿之	補助事業	行政補完的(改正実施年度 年度) 政策的(改正実施年度 年度)	29人乗り及び15人乗りマイクロバス2台により市内を運行。運行管理は運行業者及びシルバー人材センターに委託。職員が両方で5人添乗。所要時間約1時間。	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	評価：例年どおり、朝と帰りの送迎の他、グループ等の園外活動のための送迎等で運行。26年度は体力の関係から早帰りの児童の送りが1年を通してあったため運行回数が多くなっている。また、安全のため、降雪により1日休休、台風のため朝の運行を1時間遅らせた。備考：特定財源+特定財源に伴う一般財源>事業費(実績額)なのは、特定財源に人件費が含まれるため										
	わかくさ学園通園バス運行事業	給付事業	市独自上乗せ(上乗せ・横出し) 国・都連携 その他()	家族による送迎が困難なケースもあり、毎日の療育が安全かつ円滑に受けられるように通園手段を保障する。	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	方向性：シルバー人材センターが運転業務の委託を受けなくなることから、27年度以降の15人マイクロバスの運転業務は臨時職員で対応する。また、現在、2台のマイクロバスは市の所有で運行管理のみを委託しているが、車両の安全かつ確実な管理、運行のために将来的には車両も含めた委託を検討していく必要がある。										
		事業形態	直営(委託無) 全部委託 一部委託 指定管理 その他()		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度											
		近隣市状況	小平市 東村山市 清瀬市 西東京市 その他(多摩地区ほぼ全市)		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度											
09-03-06	障害福祉課 わかくさ学園	根拠法令等 児童福祉法、東久留米市中心障害児通園施設条例、東久留米市中心障害児通園施設条例施行規則、東久留米市中心障害児通園施設運営要綱、東久留米市立わかくさ学園医療的ケア実施要領	対象	利用契約障害児	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	現状維持	有効性	3	効率性	3	達成度	3	
	障害福祉課長 後藤 寿之	補助事業	行政補完的(改正実施年度 年度) 政策的(改正実施年度 年度)	肢体不自由児、知的障害児、及び発達障害児の混合の11~12名のグループを中心とした集団療育により訓練・指導を行う。また、親子遠足、夏期キャンプ、運動会等の行事療育により、園児の経験を広げるとともに、家族と交流を深め、学園と家庭との協力関係を高める。	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	評価：年間の行事療育も例年以上の参加者を得て無事実施することができた。また、日常の療育等により園児ひとりひとりが増進・量ともに顕著な発達を遂げた。9名が就学のため、1名が幼稚園入園のため3月末で退園した。それぞれ年度の早いうちからグループ職員等の相談を重ね、スムーズで適正な就学、入園に移行できた。備考：特定財源+特定財源に伴う一般財源>事業費(実績額)なのは、特定財源に人件費が含まれるため										
	わかくさ学園児童発達支援事業	給付事業	市独自上乗せ(上乗せ・横出し) 国・都連携 その他()	健全な発達を促し、障害を軽減することにより、自立を促す。また、さまざまな悩み、不安を抱えた保護者に対して、面談、保護者会等で助言等を行い子育てを支援する。	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	在園児は発達のにも多くの困難を抱えているケースが多く、日々の療育、家庭支援の実践で高めた専門性及び支援の力を次年度の療育につなげていくとともに、より広範で専門的力を要求される相談支援に生かしていく。										
		事業形態	直営(委託無) 全部委託 一部委託 指定管理 その他()		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度											
		近隣市状況	小平市 東村山市 清瀬市 西東京市 その他(多摩地区ほぼ全市)		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度											
09-03-07	障害福祉課 管理係	根拠法令等 児童福祉法	対象	市内に住む身体・知的・精神に障害のある児童	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	前年度において示した方向性	拡大	28年度以降方向性	拡大	有効性	5	効率性	1	達成度	3	
	障害福祉課長 後藤 寿之	補助事業	行政補完的(改正実施年度 年度) 政策的(改正実施年度 年度)	障害児サービスが必要としている障害者へ支給の決定を行い、その利用に対し、事業所からの請求に基づきサービスの給付費を支払う。	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	評価：放課後デイサービスの利用者の増加等により、給付費は増加している。										
	児童通所支援サービス事業	給付事業	市独自上乗せ(上乗せ・横出し) 国・都連携 その他()	障害児に対する療育プログラムの提供、生活能力の向上のために必要な支援や余暇などを提供する。	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	方向性：児童福祉法による事業であり、妥当であるため継続して維持する。										
		事業形態	直営(委託無) 全部委託 一部委託 指定管理 その他()		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度											
		近隣市状況	小平市 東村山市 清瀬市 西東京市 その他()		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度											

「有効性」とは成果指標の対前年度比に基づき、「効率性」とはトータルコストの対前年度比に基づき一律に判定したものである。また、「達成度」とは「有効性」と「効率性」の判定をクロスさせることにより画一的に判定したものである。